

市民活動支援センターからの発信

私たちは、日々いろいろな方々と共に、ボランティア・市民活動に関する取り組みを行っています。その中で、センター・コーナーのコーディネーターが感じたことや、みなさんに知ってほしい活動を紹介します。

関
恵
風

市民活動支援センター(あくろす) 居場所の在り方

先日、高齢の男性から、1件の相談を受けました。

目的もなく、約束もなくとも、ふらりと立ち寄れる居場所はないだろうか。行き場所がなくても、その場所へ行けば誰かがいて、知らない者同士が言葉を交わし、お茶を飲んで休憩できるような、ゆるやかな場所がほしい。言葉は交わしても、おせっかいをされたり、決まりごとがあったり、趣味活動のために集めるのではなく、互いを干渉し合わない距離感が理想だそうだ。

既存のどの活動にも該当しない活動だと思いましたが、実は男性には多いニーズなのかもしれないと感じました。多様性も重要な一方、居場所の運営では、来る人たちが安心して過ごせるよう、見えない工夫がされています。多様性を受け止める、地域の力を強めていく役割をもった居場所の在り方について考えるきっかけになりました。

その相談者は「夢で終わるのかもしれない」とおっしゃいました。夢では終わらないよう、一緒に地域への関わり方、仲間づくりについて考え、寄り添っていきたいと思います。

(うえの)



令和のまちのえんがわを探して

富士見コーナー 市内で模範となる、優れた自主防犯活動

富士見町の自慢は、多くの団体が参加する年4回の地域合同防犯パトロール。4班に分かれて、ごみ拾いをしながら街の防犯と環境美化を推進しています。地域で顔見知りになり、挨拶や立ち話ができる関係は、安心につながります。普段の暮らしのついでに「ながら見守り」は地域デビューにお勧め。個人でも活動できます。

参加団体は、地域住民をはじめ、調布警察署、調布地区防犯協会、調布市総合防災安全課、調布市協働推進課、富士見児童館、石原小学校職員とPTA、石原小地域学校協働本部、石原小おやじの会、富士見町自治連合会、石原小地区協議会、健全育成推進石原地区委員会、八富会、ふじみパトロール隊、わんわんパトロール隊、特定非営利活動法人ちょうふこどもネット、社会福祉法人六踏園、調布市社会福祉協議会など、地域の数多くの団体に関わり、安心、安全、協働のまちづくりに取り組んでいます。今年度も富士見コーナーは「地域の見守り力」向上に協力していきます。



人と人のつながりが地域を守る
(石原小前鬼太郎公園にて)

(おかざわ)